

正覚寺だより

スジャー夕

50

平成23年(2011)

7月1日発行

〔スジャー夕とは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共生

平成23年は法然上人の800年大遠忌です

法然上人
大師号「法爾」を頂く

お盆のご案内



京都、総本山知恩院へ参拝

〔住職のつぶやき〕

家族の写真 「一期一会」



[住職のつぶやき]

家族の写真

「一期一会」

住職／山縣 正紀

(1)

海軍の飛行機乗りだった元特攻隊員である父(先代住職)は正美という。台湾で生まれ満州で青春時代を過ごした元国際人(?)の母は久子という。共に平凡な名前である。

私は正紀。素晴らしい男性に出会えたと博多からやって来た元OLの妻は靖子という。二人もやはりごく一般的な名前である。

だからという訳ではないが、第2子である長男を雷音(らいおん)と名づけた。お経の中に、「お釈迦様の説法は獅子が吼えるように声が大きく、又威厳があった」とあり、インドではライオンが仏教のシンボルになっている。

次に男の子が生まれた時、周りの人達がタイガー(大河、又は大我)が良いと言うので、「そうは問屋が卸さないぞー」と、ひねくれ者の私は知恩(ちおん)と名づけた(笑)。知恩報恩の知恩であり総本山知恩院の知恩である。

2人とも元気に素直に育ってくれ、現在京都在住、修学に励んでいる筈である。

第1子である長女は菜美子という。24歳になるこの娘も、素直でとても明るいが強烈的な個性の持ち主である。

私が家にいる晩は、出来るだけ一緒に風呂に入り、シャンプーをして体を洗ってやる。あがる時にはタオルで丁寧に拭く。

知的な障害を持って生まれて来たので生活全般に介助が必要なのである。すべ

て妻に任せきりなので、多少の手助けのつもりである。

(2)

3年余り前、その長女が成人式を迎えるのを機に、近所に住む叔母も誘って家族の集合写真を撮った。長男そして次男が大学進学で次々呉を離れると、今後は全員が揃う事が少なくなるだろう。とも思い撮影した。

また、いつも頼んでいた近くの写真店が閉店することになり、今までお世話になった記念にという気持ちもあった。

(3)

そして今年の正月三日に母が亡くなったので、これが三世代揃った最後の家族写真になった。

二度と撮影出来ないこの瞬間を撮っておいて良かったと思う。一期一会。再び巡って来ない掛替えのない一枚になりました。

母は正覚寺へ嫁いできて60有余年、永年お世話になりました。また、葬儀の際にはわざわざお参り頂き有難うございました。

心よりお礼申し上げます。



▲前列 左から 住職の叔母、父、母
後列 左から 長男、次男、住職、長女、妻

法然上人、大師号「法爾」を頂く

天皇陛下から徳のある高僧に贈られる名前を大師号だいしごうといいます。この度、法然上人の800年大遠忌にあたり、今上天皇より法然上人に「法爾大師」というお名前を頂きました。

1697年（元禄10年）東山天皇から「円光大師」と贈られたのが初めて、その後下記のように50年毎に新たなお名前を頂き、これで8つめの大師号になります。

真言宗の開祖、空海上人は弘法大師と呼ばれ、大師号の方が一般的によく知られているのはご存じの通りです。

しかし、一人の高僧に複数の大師号おほぼくしゅう いんげんしやうにんが贈られるのは極めて希で、黄檗宗の開祖 隠元上人と法然上人のただ二方だけです。

大変名誉なことであり去る4月18日、総本山知恩院において奉告法要が営まれました。



▲菊の御紋の袱紗に包まれた勅書を持ち、御影堂内に入る行列

法然上人の大師号	天皇	元号	西暦	回忌
圓光（えんこう）大師	東山天皇より	元禄10年	1697年	
東漸（とうぜん）大師	中御門天皇より	宝永8年	1711年	500回忌
慧成（えじょう）大師	桃園天皇より	宝暦11年	1761年	550回忌
弘覺（こうかく）大師	光格天皇より	文化8年	1811年	600回忌
慈教（じきょう）大師	孝明天皇より	万延2年	1861年	650回忌
明照（めいしょう）大師	明治天皇より	明治44年	1911年	700回忌
和順（わじゆん）大師	昭和天皇より	昭和36年	1961年	750回忌
法爾（ほうに）大師	今上天皇より	平成23年	2011年	800回忌

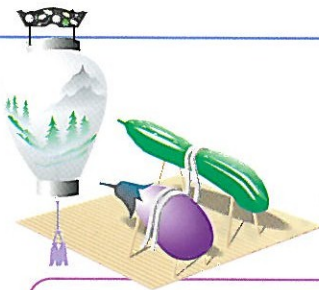
導入看板を設置

檀家の方々に正覚寺の場所が分からない方はいないと思います。

ただ昨今、法事を本堂でされることが一般的になり、親戚の方など初めての人もお参りされる事が多くなりました。

「国道から入口が分かりにくかった」「迷った」という声を聞くようになったので建物の壁面を借りて設置しました。





お盆の行事

どうぞ
お参り
下さい

お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう
棚経法要

7月17日(日)

■ 朝9時から11時まで

同封の水色の回向袋に棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡しいたします。

それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。



感謝の気持ちで

せ が き え
施餓鬼会

8月15日(月)

■ 朝9時から11時まで

同封の黄色の回向袋に塔婆回向ご希望の戒名をご記入して、当日ご持参下さい。

塔婆に書きかえてご回向致します。



初盆を迎える方 7月15日までにご連絡下さい

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月15日までにご連絡下さい。その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要(7/17)、施餓鬼会(8/15)の回向袋の初盆に○印をつけてお参り下さい。

昨年の回向之證はどうする？

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養(焼却)いたします。

駐車場について

- 例年のように確保できるか、直前にならないと分かりませんが、総代、青年会の方々が炎天下にボランティアで係をさせていただきます。恐れ入りますがその指示に従って下さい。

自筆コーナー

待ち時間が長くなるので、戒名を塔婆へ自分で書かれても結構です。

玄関前に筆ペンを用意して自筆コーナーを設けていますからご利用下さい。



ボランティア募集中

書道経験者の方々、ご協力をお願いできませんか？

最近は毛筆を使われる方が少なくなって困っております。よろしくお願い致します。



東日本大震災に対する 浄土宗、寺院、関係団体の 支援活動について



都内では帰宅困難者が街にあふれたため、港区の大本山増上寺を開放し約500名を受け入れました。

また、水、お茶などの食料品、カイロ、毛布、ローソク、ノート、筆記用具などの日用雑貨品を計8台のトラック便で被災地に届けました。

無事だった寺院は本堂などを避難所やNPO基地に提供し、自ら被災した寺院の住職や副住職も、それぞれに炊き出しや聴聞ボランティア、火葬、土葬の際の読経ボランティアなどを勤めるなど活躍しておられる様子です。

浄土宗と関係団体から義援金として、直後に6500万円を日本赤十字社へ委託し、その後、全国の浄土宗寺院から善意が寄せられ、6月3日現在で2億9千万円余りが集まっております。

正覚寺の義援金箱に寄せられた61,585円は「正覚寺参詣者一同」として中国新聞社へ、また別に「正覚寺」として浄土宗と中国新聞社にそれぞれ10万円づつ合計20万円を義援金として送らせて頂きました。

遠隔地にあって、ほとんど何も出来ない私達ですが、これを機会に節電するなど、改めるべき生活習慣は改めて行きたいと思います。

京都・知恩院へお参りしました

去る5月28日(土)から1泊2日。

参加者は、住職が兼務している西条の随泉寺からも含め総勢37人。800年大遠忌を記念して「おてつき信行奉仕団」として行きました。

奉仕作業は1時間に満たない簡単なもので、法話や映画、一般には入れない所の拝観など盛り沢山なものでした。

2日目には、京都市内の他の2ヶ寺にもお参りし有意義な参拝の旅になりました。



浄土宗の豆知識

浄土宗の檀家の方に、知っておいて欲しいこと、よく質問されることなどをまとめて「浄土宗の豆知識」を作りました。

春のお彼岸にお参りされた方には配布しましたが、お持ちでない方は境内2カ所に置いてありますので、ご自由にお持ち帰り下さい。

またお盆の法要の日にも、受付に用意しておきますから、ご希望の方はお申し出下さい。





■ 秋の法要ご案内

あき ひ がん え
秋 彼岸 会

9月23日(祝)

■ 朝10時より

じゅう や ほう よう
十 夜 法 要
えい たい きょう く よう
永代経供養

11月13日(日)

■ 朝10時より

800 年大遠忌募財について

5月に募財のお願いをしたところ、さっそくに募財の申し込み、また多数の方々が早々に振り込みや送金、またはご持参下さり、誠に有り難うございます。

事務には細心の注意をはらっておりますが、募財を納めたのに3週間以上たっても受納の便りが届かないような事がもしありましたら、恐れ入りますがご連絡下さい。

また、申し込みをお忘れになったり、まだお済みでない方には、昭和62年以来25年ぶりの募財でもありますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

募財要項などを失われた方がありましたら、どうぞご連絡下さい。改めてお送りさせていただきます。

檀家会費について ○年会費／一口3,000円 ○受付／9月末日まで
本年もまた、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

あ と が き

- 6月1日の大掃除には19名の方が参加下さり有り難うございました。お陰さまで普段の掃除が行き届いていない所まで、とても綺麗になりました。
- 8月15日の盆施餓鬼会にお参りされた方に、住職が描いた団扇^{うちわ}を差し上げられるよう今年も準備をしております。
- 住職の参加している絵画グループ「互楽会」展は、9月16日(金)から3日間、呉市文化ホール2階で開催いたします。どうぞお立ち寄りください。
- 8月20日(土)から2泊3日の「おてつきこども奉仕団」参加者を募集しています。小学校3年生から中学校3年生を対象に行います。会費無料(京都往復交通費と保険料などは参加者負担)
- お申し込みは7月15日(金)まで、詳しくはお尋ね下さい。
- 7月14日(木)の念仏の会は休会しますので、17日にお参りして下さい。



昨年の団扇



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／ 0823-21-6086 Eメール／ shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／ 0823-22-9922 郵便振替／ 01300-5-13754